

HATなぎさ地区における 「共生のまちづくりプラン」のできるまで

兵庫県神戸市
神戸市灘区社会福祉協議会

みんなでつくる ～一人ひとりに寄り添って～HAT神戸なぎさ地区「共生のまちづくりプラン」

阪神・淡路大震災後の復興住宅としてHAT神戸が平成10年にできて24年が過ぎ、生活困窮や社会的な孤立化が懸念されている中、神戸市灘区社会福祉協議会の「なだ助け合いの地域づくり事業」のモデル地区として指定し、実践活動プランの作成に取り組んできました。そして、昨年度末に住民が主体となり、「共生のまちづくりプラン」が完成し、そのプランに基づき、新たに地域支援グループが3団体新設されました。その過程は、このまちをよくしたいという、住民一人ひとりの想いをアンケートやまちづくり会議で取り上げた結果です。しかし、今回、コロナ禍で対面での話し合いが十分に出来なかったなどの反省点もあります。でも、住民の参加者メンバーの一人ひとりが誠実に取り組んだ内容が、このプランにあります。

このプランは、最初の第一歩です。小さな苗木がいつか大樹になるように、このプランへの皆様の熱意や協力の継続が、未来を切り拓いてくれると信じています。

今後とも、灘区社協は、ワンチームとして、地域住民の、住民による、住民のための共生のまちづくりを目指し、住民とともに「共生のまちづくりプラン」づくりに取り組んでいきます。

